

1. 件名：原子力エネルギー協議会との面談
 2. 日時：令和5年5月25日（木）15：30～17：28
 3. 場所：原子力規制庁9階会議室
 4. 出席者：
 - 原子力規制庁
 - 長官官房技術基盤グループ
 - 技術基盤課 佐々木企画調整官、藤澤技術参与、篠田係長
 - 放射線・廃棄物研究部門 大塚主任技術研究調査官、佐藤副主任技術研究調査官、古田技術研究調査官、川崎技術参与
 - 原子力規制部
 - 原子力規制企画課 金城課長、佐藤専門職、斎藤課長補佐、望月専門職、佐藤係長、金坂係員
- 原子力エネルギー協議会（ATENA）事務局長 他4名
東北電力株式会社 原子力本部原子力部 副長
東京電力ホールディングス株式会社 原子燃料サイクル部廃棄物対策グループ
グループマネージャー
中部電力株式会社 原子力部廃止措置グループ 課長
関西電力株式会社 原子燃料サイクル室 サイクル環境グループマネージャー
5. 要旨：
 - 原子力エネルギー協議会（ATENA）より、次回の主要原子力施設設置者の原子力部門の責任者との意見交換会（以下「CNOとの意見交換会」という。）では、現時点において、重大事故等対処施設の導入等を踏まえた運転上の制限（LC0）等の設定に関する考え方など、リスク情報の活用に関する意見交換の実施を希望する方向で検討している旨、発言があった。
 - 原子力規制庁から ATENA に対して、CNO との意見交換会に提出する資料については、検討の結果のみならずその過程も重視した内容で作成するよう求めた。
 - ATENA より、承知した旨、発言があった。
 - ATENA より、今後実施予定の原子力規制委員会と ATENA との意見交換会においては、ATENA の役割の再確認を含め今後の動きに関して話したい旨、発言があった。
 - ATENA より、令和4年12月9日面談資料に記載された日本原子力学会標準の内容について、配布資料に基づき、説明があった。
 - 原子力規制庁から、令和4年12月9日に受領した面談資料には、日本電気協会規格3件に加え、日本原子力学会標準4規格について2025または2026年度までのエンドースが必要と現状考えている旨記載されているが、現在実施している日本

機械学会規格等の技術評価の状況を踏まえて再度検討し、公開において説明するよう伝えた。

○ATENA より、承知した旨、発言があった。

6. 配布資料：

資料 1 廃棄物関連 4 標準について

資料 2 資料 2 廃棄体製作・検査標準説明資料

以上